

2023トルコ南東部地震

TMAT 災害医療活動報告

2023年2月17日 11:00

第10報

2月16日 (以下現地時間)

7:00頃

先遣隊3名、第1陣10名、通訳4名はアダナを出発。活動サイトのオスマニエ バーチェに向かった。なお、メンバー全員健康状態は良好。

9:00頃～17:00頃

活動サイト（バーチェの病院前仮設診療所）に到着。昨日に引き続き診療活動を開始。

本日もトルコの医療チーム **UMKE** と共同で実施。本日は外科疾患 39 件、内科疾患 20 件、搬送対応 3 件の合計 59 件の対応を行った。

外科系患者多数来院、また一緒に活動する **UMKE** や地元の信頼も得られ、内科疾患患者も多く **TMAT** で対応した。散弾銃暴発による銃創処置や心電図変化があった患者を心筋梗塞疑いで転院搬送、脱水患者の点滴処置なども行い、活動を開始して最も多く患者対応を行った1日となった。患者数が増えていることは、日本のチームが信頼を得られている証拠であり、地元でも非常に好意的に受け入れられている。

午前中、鈴木医師と浅野看護師はオスマニエ対策本部を訪問。対策本部の **UMKE** 担当などへ現状の報告と、オスマニエ地域全体の状況について情報共有を行った。現在は、医療支援者も充足してきており、オスマニエ地域のサイトは順調に回っているとのこと。

16:30 頃には日本の医療チーム（NPO 法人）の先遣隊 2 名がバーチェの **TMAT** 活動サイトに来訪。情報交換を行った。

本日の診療は 17:00 に終え、**EMTCC** への **MDS** 報告を実施して活動終了となった。

17:00 頃

バーチェの活動サイトを出発。

19：00 頃

アダナの宿舎到着。その後、日本のマスメディア（フジテレビ）の取材に Zoom で鈴木医師と合田医師が対応した。

また、TMAT 協力医療機関である徳洲会グループの広報チーム 2 名が夜に合流。明日から、TMAT 広報チームとして同行する予定。

明日も本日同様 7：00 にアダナを出発し、活動サイトに向かう予定。なお、メンバーの健康状態は良好ですが、少し疲労が見え始めています。各メンバー休息日を設けながら、体調管理をしながら活動を行っていきます。

【第 2 陣派遣について】

オスマニエ県バーチェでの活動を引き続き継続的に進めるよう、第 2 陣の派遣を決定しました。

メンバーは以下 9 名。

隊長	當麻 俊彦	医師	（八尾徳洲会総合病院）
	町田 崇	医師	（福岡徳洲会病院）
	油江 まき	看護師	（福岡徳洲会病院）
	伊豫田 かなえ	看護師	（湘南藤沢徳洲会病院）
	土山 優子	看護師	（八尾徳洲会総合病院）
	上國料 一康	看護師	（東大阪徳洲会総合病院）
	篠原 裕	薬剤師/ロジ兼	（武蔵野徳洲会病院）
	柳川 拓哉	薬剤師	（四街道徳洲会病院）
	阪木 志帆	事務局	（TMAT 事務局/一般社団法人徳洲会）

第 2 陣は 2 月 18 日（土）午前 9：45 成田空港発の便でイスタンブールを経由し、現地時間 2 月 18 日（土）夜にアダナに到着。第 1 陣から引き継ぎ活動を継続する予定。

引き続きご支援ご協力よろしくお祈いします。



診療の様子

なお、TMAT では今回のトルコ南東部地震支援に関するクラウドファンディングを開始しています。ぜひご協力いただきたいとともに、皆様のお知り合いにもお知らせいただけると幸いです。

TMAT トルコ南東部地震支援クラウドファンディング



事務局担当

野口 幸洋 (NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)

阪木 志帆 (NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部)

文責 事務局 野口 幸洋